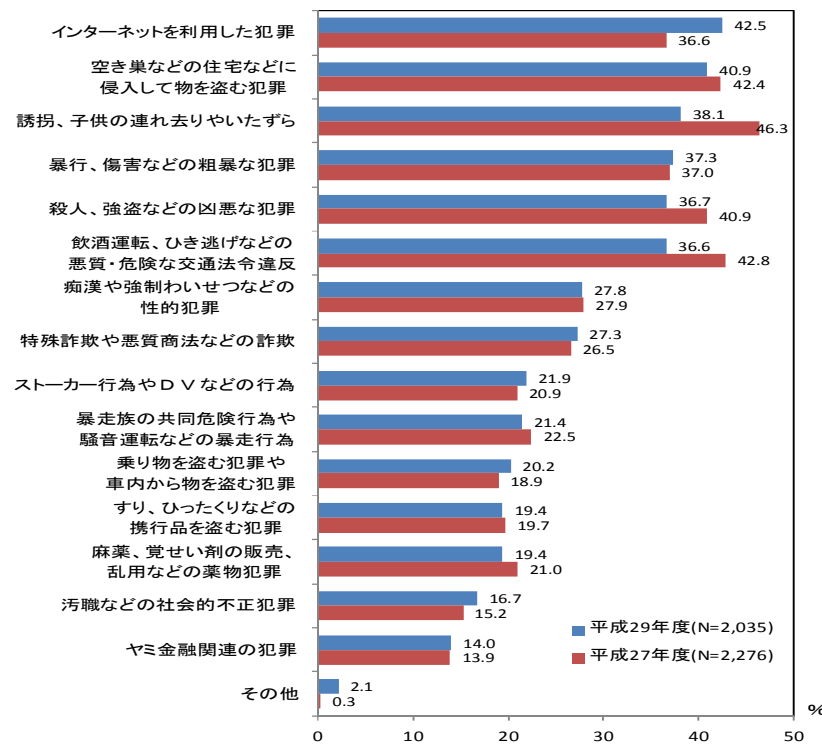


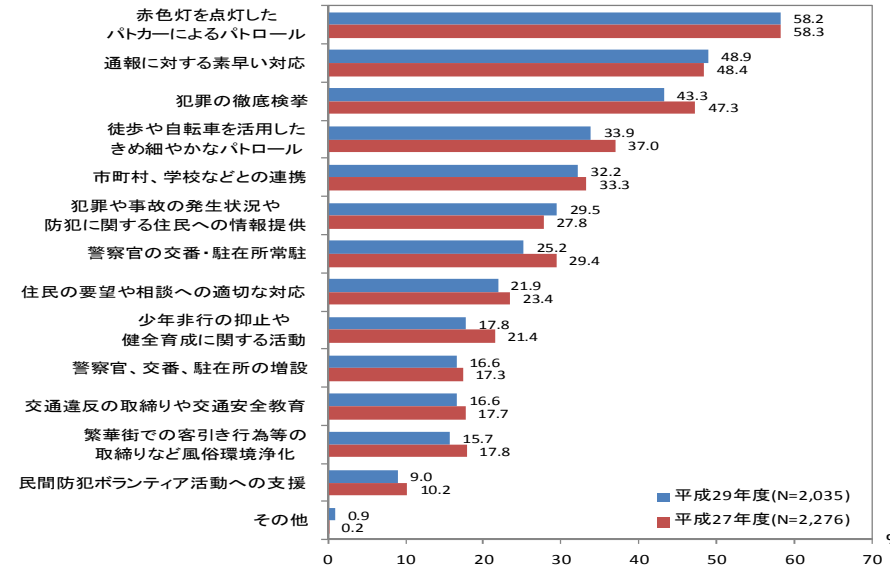
# 体感治安に関する県民の意識調査結果（概要版その2）

## ■ 取り締まってほしい犯罪と治安を良くするために効果があると思う取組

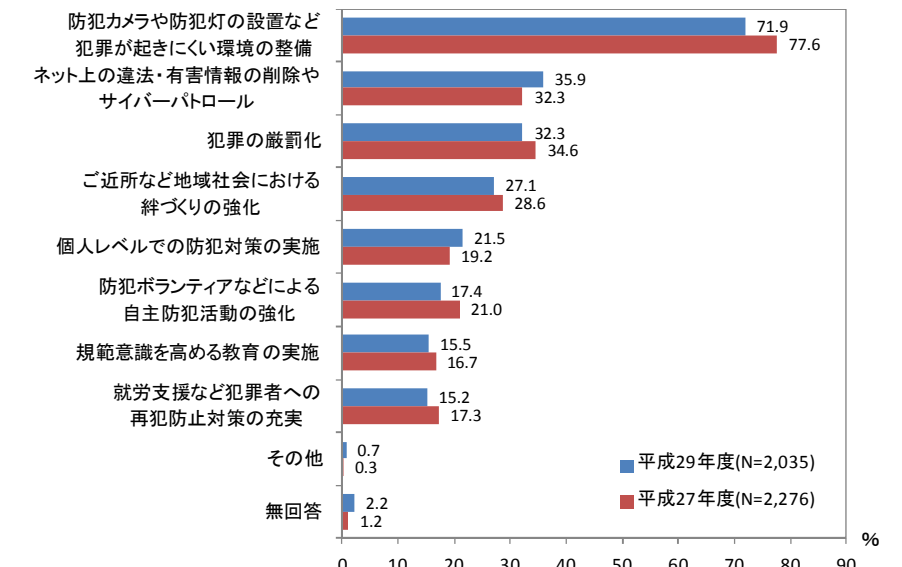
### ○ 取り締まってほしい犯罪



### ○ 効果が期待できる警察活動



### ○ 効果が期待できる警察活動以外

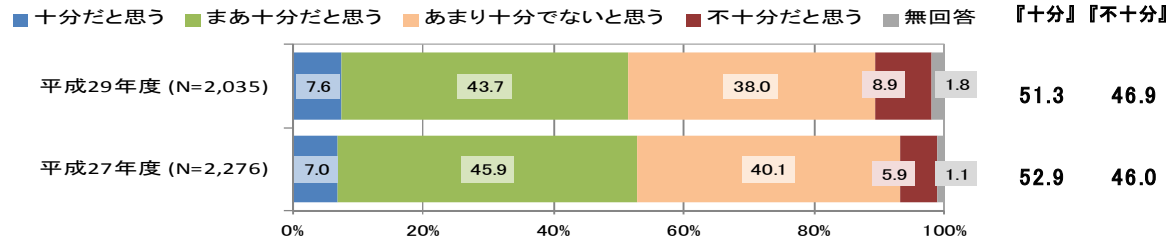


### 特徴

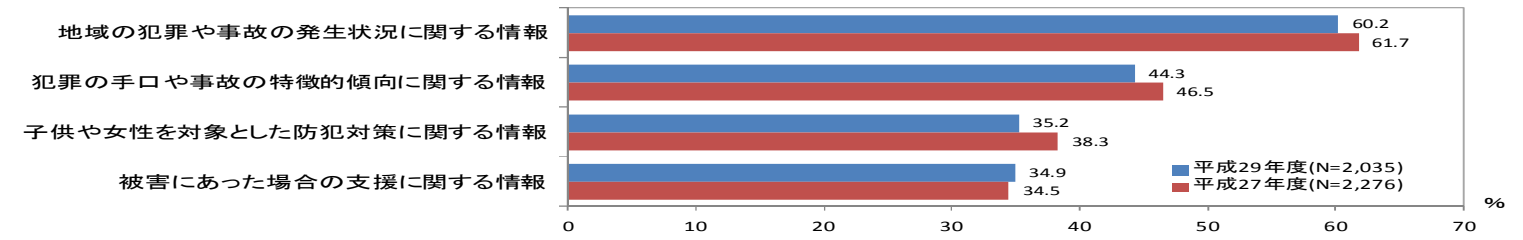
- ・ 警察に取り締まってほしい犯罪では、「インターネットを利用した犯罪」とする回答が前回調査時の6番目から大きく増加し、年代別では30歳代から50歳代において多い。
- ・ 治安を良くするために効果があると思う警察活動では、前回調査時と同様に、「赤色灯を点灯したパトカーによるパトロール」が最も多く、「通報に対する素早い対応」、「犯罪の徹底検挙」と続く。
- ・ 治安を良くするために効果があると思う警察活動以外の取組では、「防犯カメラや防犯灯の設置など犯罪が起きにくい環境の整備」が圧倒的に多い。また、「自由意見」や他の質問事項における「その他意見」においても「住宅地の街灯が少ない」「防犯カメラがあるだけで犯罪が減るのではないか」など、防犯カメラや防犯灯を求める意見も挙げられている。

## ■ 情報の充足度

### ○ 情報提供の充足度合い



### ○ 今後提供してほしい情報(上位4項目)

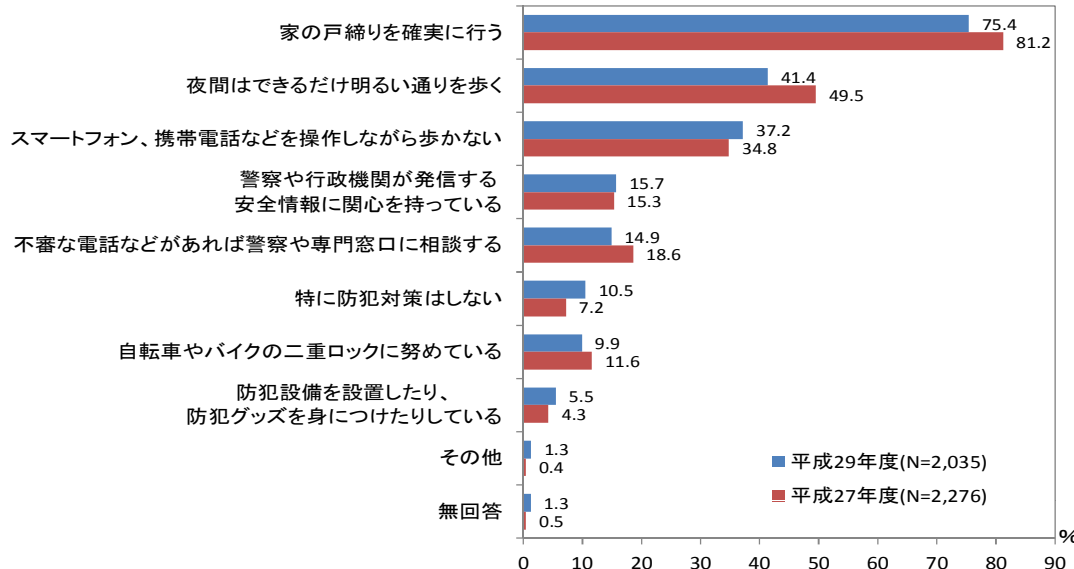


### 特徴

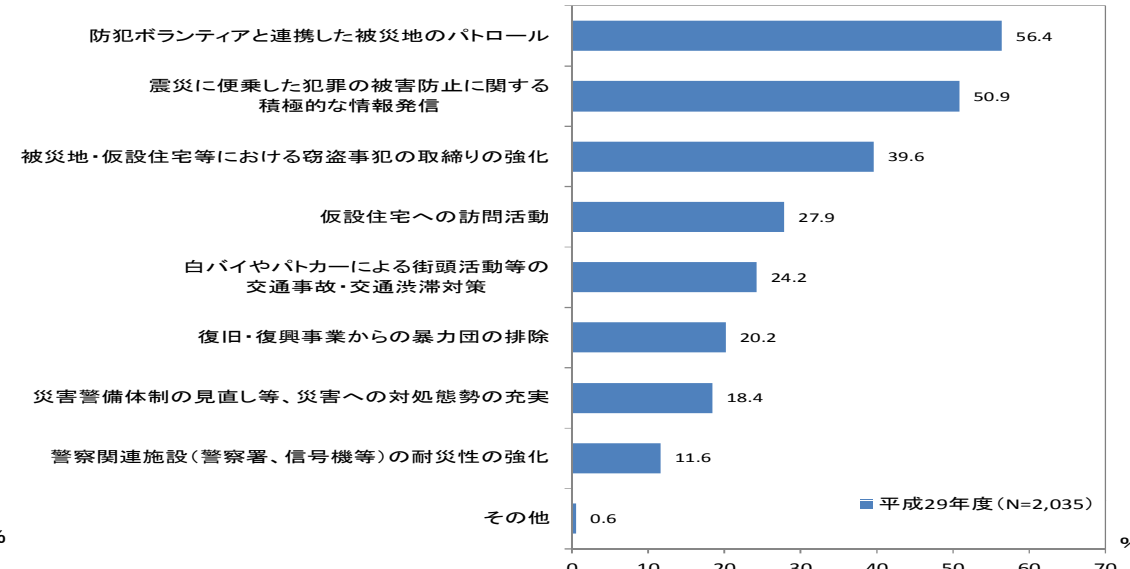
- ・ 情報提供の充足度では、『十分』が『不十分』を上回っている。しかし、職業別では、会社員・会社役員で『不十分』とする回答が5割を越え、『十分』とする回答を上回っている。
- ・ 提供を求める情報では、前回調査時と同様に発生状況に関する情報、その手口や傾向、防犯対策に関する情報を求める回答が多い。

## ■ その他（防犯等への日頃の心掛け・震災関連の警察活動で必要だと思う取組）

### ○ 防犯等への日頃の心掛け



### ○ 震災関連の警察活動で必要だと思う取組



### 特徴

- ・ 防犯等への日頃の心掛けについては、「家の戸締りを確実にを行う」(75.4%)が最も高く、次いで「夜間はできるだけ明るい通りを歩く」の順が続いている。性別で見ると、女性は「夜間はできるだけ明るい通りを歩く」が59.2%と高く、男性の2倍以上となっている。
- ・ 震災に関連した警察活動で必要と思う取組については、「防犯ボランティアと連携した被災地のパトロール」(56.4%)が最も高く、次いで「震災に便乗した犯罪の被害防止に関する積極的な情報発信」(50.9%)の順が続いている。